

尾張旭市制 50 周年記念事業

実績報告書



目 次

I	基本構想	1
II	テーマとロゴマーク	3
III	新型コロナウイルス感染症対策	4
IV	事業の内容	5
V	事業に対するご寄附	55
VI	広報・PR実績	56
VII	事業の成果と特徴	59
VIII	事業実施による効果	59

はじめに

昭和45年12月1日に東春日井郡旭町から愛知県内で27番目の市として誕生した尾張旭市。

古くから都市を結ぶ街道が通り、人びとの交流が盛んであったこの地は、豊かな緑に恵まれ、人と人とのつながりが、自然と生まれる暮らしをもたらし、住宅都市として発展してきたことで、施行当時、約3万4千人であった人口は、約8万4千人（令和4年4月現在）となりました。

そして、人もまちも元気にする「健康都市」としての取組は、今日の尾張旭市が歩んできた歴史の中で得た、市民と行政をつなぐ貴重な財産です。

そうした中、令和2年に市制50周年という記念すべき節目の年を迎えた尾張旭市は、これまでの歩みを振り返るとともに、これからの未来へのスタートに向け、市民の皆さんとともに、さまざまな記念事業に挑戦しました。

この市制50周年記念事業実績報告書は、記念事業を通じて得られた多くの成果を、次の時代のまちづくりを進めるための糧として活かし、未来へと引き継ぐため、記録としてまとめたものです。

I 基本構想

1 基本理念

市制50周年を迎えるにあたり、基本的な考え方である「基本理念」を以下のように定めました。

尾張旭市は、昭和45年に市制を施行し、令和2年に市制50周年の記念すべき節目の年を迎えます。

今日に至るまちの発展は、市民・団体・地域コミュニティ・事業者・行政など、さまざまな主体が一緒になり、知恵をしばりあい、ともにまちづくりを進めてきた証です。

市制50周年は、改めて「過去」を振り返り、先人から受け継いだ財産の大切さを知り感謝し、この節目を迎えられた「今」を誇りに思い、「未来」に向けてふるさと尾張旭を想う良い機会となります。

このため、将来へ続く継続的なまちの発展や活力につなげるため、全市を挙げて市制50周年記念事業を実施するものとします。

2 基本方針

基本理念の実現を図るため、次の基本方針に基づいて、市制50周年記念事業を推進しました。

① 子どもから大人まで、まち全体で市制50周年をお祝いします

市民や団体・地域コミュニティ・事業者・行政といった、まち全体が、ふるさと尾張旭の市制50周年をお祝いするムードや一体感を感じられ、子どもから大人まで、多くの方が参加できる記念事業をめざします。

② まちの魅力を知り、体感し、ふるさと意識や愛着を育みます

豊かな緑や歴史、文化、健康への取組みなど、本市の魅力を知る機会や体感できる機会をつくり、まちの将来を担う子どもたちなど、多くの方がふるさと尾張旭への愛着を、より一層深めることができる記念事業をめざします。

③ 歴史と功績を振り返り、未来へと引き継ぎます

歴史や文化、緑あふれる住みよい環境など、ふるさと尾張旭の貴重な財産をつくり受け継いできた先人の功績を振り返り、感謝の気持ちを持って、未来の世代へ引き継ぐことができる記念事業をめざします。

3 実施期間

令和2年度と令和3年度の2年間を実施期間としました。また、令和2年12月1日は「市制50周年記念日」(☆)としました。

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
			
基本構想の策定	事業の準備・周知	事業実施	事業実施

4 記念事業の構成

市制50周年記念事業は、「市民お祝い事業」と「あさびーお祝い事業」で構成し、基本方針に基づくこれらの事業によって、まち全体にお祝いムードの盛り上がりと一体感を創出しました。

① 市民お祝い事業

市制50周年を記念して、市民や各種団体等の皆さんが主体的に企画・実施していただいた事業

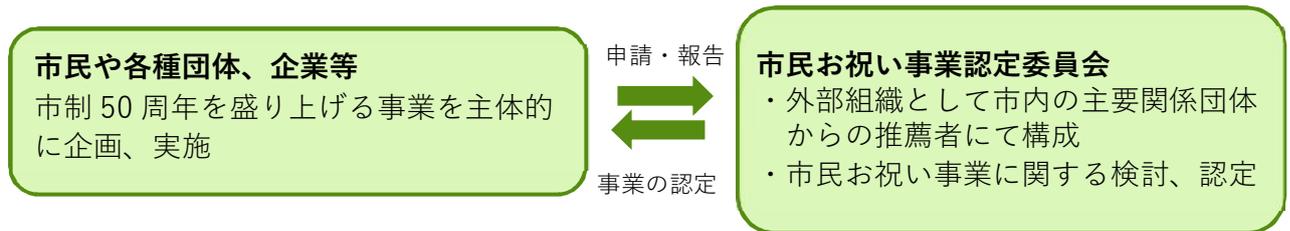
② あさびーお祝い事業

市制50周年を記念して、市が主催または共催して実施した事業

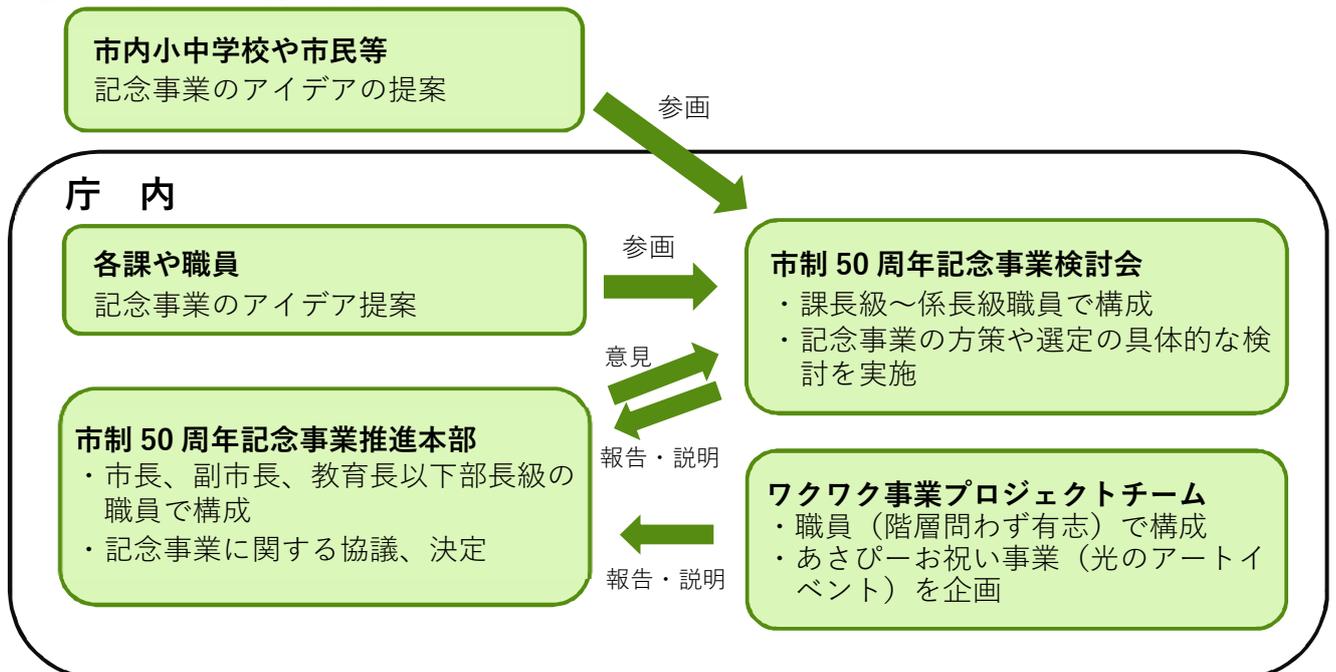
5 実施体制

市制50周年記念事業を実施するにあたり、それぞれの記念事業について、推進本部等や認定委員会を設置し、多くの市民や各種団体等の皆さんと協力して事業の推進を図りました。

① 市民お祝い事業



② あさびーお祝い事業



II テーマとロゴマーク

一体感の創出と市制50周年を盛り上げていくため、テーマとロゴマークを決定しました。

テーマとロゴマークは、実施期間を通じて、ポスターやチラシ、関連グッズ等さまざまな事業に広く活用し、記念事業の啓発や市制50周年のPRにつなげました。

1 テーマ

とものつなごう

あさひの歩み・いま・未来

2 ロゴマーク



市民の皆さんの投票で決まったロゴマークには、市制50周年にお祝いの花を添えたいと、市の花であるひまわりをゼロに見立て50という文字が表現されています。

また、大きな朝日を描くことにより、この先も尾張旭市と市民の皆さんが寄り添いあい、前向きで明るく穏やかに暮らすことができるよう、未来への希望が込められています。

この市制50周年記念ロゴマークは、名古屋学芸大学の堀田和香奈さん（写真左）がデザインしてくださいました。



ロゴマークの市民投票

市役所をはじめ、4カ所の公共施設、森林公園、イトーヨーカドー尾張旭店に投票用ボードやBOXを設置しました。また、ウェブを利用した投票も実施し、2,665票もの投票の結果、ロゴマークが決定しました。

